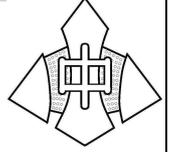


- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和3年5月27日(木)発行  
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

# 手をたずさえて

◆◆◆ 市中体連総合大会に向けての抱負を各部長に書いてもらいました! ◆◆◆

## 一戦必勝

県大会出場に向けて頑張ってます。  
最後の大会を3年生は人全員で力を合  
わせて優勝してきます。

野球部 伊藤 竜太郎

この中体連での目標は、  
試合での2勝。そして1人1人が  
声をかけ合い勝つても負けても  
「やり切った」と思えるプレーを出きる  
ようがんばってきます。

サッカー部 高野 航陽

今までの思いを  
込めて、これまでの  
努力を全て発揮し、  
勝利を目指します。

男子ソフトテニス部

浦山 夏樹

団体戦・個人戦 県大会出場を  
目指しメンバー全員で力を合わせて頑張ります。  
おまじめとも言える大会なので、自分の実力を  
精一杯発揮して、良い結果を持ち帰ってきたいです。  
一球一球を大切に自分のプレー  
をしていきます。応援よろしくお願いします。

女子ソフトテニス部 松坂 梨瑚

私たちは、県中大会を目標にしています。  
また、一人一人ができることをしっかりとやり、  
全員が同じ目標に向かって、最後まで  
あきらめずに全力でプレーしてきたいと  
思います。

バレーボール部 安保 透菜

強生にと、最後の大会なので  
バスケット部全員で協力し、  
全力で試合に臨みたい  
と思います。

男子バスケットボール部 七海 健太郎

私たちは、一勝することを目標に日々の  
練習に励んできました。3年生を中心に  
意見を出し合いながら、よりよい部活動  
を作り上げてきました。今までの練習の  
成果を十分に発揮し、最後の一秒ま  
で諦めずにがんばりたいと思います。

女子バスケットボール部 伊東 さくら

## 市中体連 総合大会に 向けて

この中体連ではみんな  
ながお互いを応援し  
合い、一人一人が全力を  
出し切りたいと思います。  
自分たちの中で、最高の  
結果を残したいと思います。

男子卓球部 吉田 大は

まず団体戦では、県中大会出場を  
目標にしています。メンバーにわたる人、応援  
する人、みんなが心を一つにして、試  
合に臨みたいですね。次に個人戦では、  
それぞれが自分のベストを尽くし、上位に勝  
ち残れるようにしたいです。

女子卓球部 宗像 希未

今年は基礎を固めて、  
確実に本を取りに行けるように  
丁寧な剣道をしたいです。  
県大会出場を目標としてがんばります!

剣道部長 長尾 悠生

# 「弱気」は最大の敵!!



かつて、プロ野球の広島東洋カープに在籍し、「炎のストッパー」と呼ばれた投手がいました。どんな場面でも、MAX150キロの直球で常に真っ向から勝負を挑む強気なピッチングで、「炎のストッパー」と呼ばれて恐れられた津田恒美（つだ つねみ）投手です。

「弱気」は最大の敵」…この言葉は彼の言葉です。

津田投手は、1993年32歳の若さでこの世を去ってしまいました。

「僕は気が弱い。弱いからこそ魂をこめて投げるんです。」

ストッパーという、抑えて当たり前、打たればすべての責任を負うというタフな仕事は、精神的によほど強い人間でなくてはやっていけないものです。津田投手は、その弱気を克服するために、気合い（魂）をこめることで、並み居るセリーグの打者に立ち向かっていきました。

そんな彼を病魔が襲ったのは1990年。悪性の脳腫瘍でした。恐らく助かる可能性は薄いと言われ、そんな病気に最初は弱気の心があったか、投げやりになっていました。しかし、彼は再び広島市民球場で投げることを目標に、マウンドで投げるときと同様に、果敢に病気と戦っていったのです。一時はキャッチボールができるくらいまで回復しました。

しかしながら、運命は残酷なもので、彼はその目標を達成することなくこの世を去っていきました。最期まで戦ったその姿は、「炎のストッパー 津田恒美」そのものだったと讃えられました。

人生においては、嫌なことや逃げたいことなどさまざまな壁にぶつかる時があります。そんな時、志半ばの32歳という若さで逝ってしまった津田投手が、弱気になる心から逃げずに己に勝（克）つことや限りある命の中でどう生きていくかについて教えてくれた気がします。

運動部の生徒のみんなにとっては、いよいよ市中体連総合大会が来週開催されます。特に3年生にとっては、2年数ヶ月間続けてきた部活動の集大成となります。今までの練習で積み重ねてきたものを無駄にしないためにも、気力を充実させ、万全の体制で試合に臨んでほしいと思います。

そして「弱気」は最大の敵」という津田投手の言葉を是非とも胸に刻み、戦いに挑んでください。

## 「試合に勝つ」こととは、「自分に克(か)つ」ことです!

さあ、いよいよです。各部ともに対戦相手も決まり、目標も定まったと思います。「弱気」は最大の敵」という言葉とともに、次の3つをしっかりと受け止めてください。

### 1 「克己」(こつき)：己(自分)に克(か)つ

相手はどうあれ同じ中学生です。勝敗を分けるのは、技術の差よりも「精神力」の差が大きいと思います。集中力、粘り強さ、冷静さ、気迫といった「精神力」です。勝負には相手が存在しますが、これは同時に「自分との戦い」でもあります。「試合に勝つ」ということは、「克己」(こつき)つまり「己(自分)に克(か)つ」こと、「自分の迷いや弱さを克服する」ことなのです。「弱気」は最大の敵」にも通じるし、まさに本校伝統のスローガン「自分に打ちかて」です。



### 2 「チーム力」(部員全員の力で)

一人の力では勝てません。個人競技の1対1の試合であったとしてもそうです。一人一人の力は小さいかもしれませんが、選手一人一人の力、ベンチの力、それらすべての力を結集させるのです。すると、それらは目に見えない大きな力となって、試合の流れに作用していきます。さらにピンチの時こそ、声を掛け合い、コミュニケーションをとること。それらがチーム力です。

### 3 「マナーでも勝つ」

あいさつを含めた礼儀作法、施設や物を大切に使う心、きびきびした行動、用具の整理整頓等、小原田中生のマナーはすばらしいと言われるよう心がけてください。

「試合に勝つ」とともに「マナーでも勝つ」ことも目標にしてください。

**小原田生としての自信と誇りをもって精一杯戦ってください。健闘を祈ります!**